

動植物の宝庫、蛇谷国有林と

白山山頂、世界遺産白川郷が望める蛇谷風景林

石川森林管理署

白山国立公園エリアの蛇谷国有林は、石川県の南部、白山市(旧吉野谷村)に位置しています。東側は富山県、岐阜県と接しており、面積は五、六五七ha、標高は七〇〇m〜二、〇〇〇mに及び、一、三〇〇mと標高差が大きく、峡谷型の地形を呈しています。植生は山地帯のブナ、亜高山帯のオオシラビソ、ダケカンバ、高山地のハイマツ等から形成され、学術的にも貴重な動植物の分布が見られるこ



白山森林生態系保護地域



蛇谷風景林

とから、蛇谷国有林をはじめ、大汝国有林、釈迦ヶ岳国有林など白山周辺の原生的な天然林が所在する地域約七千haを白山森林生態系保護地域として設定し、森林生態系及び野生動植物の保護並びに遺伝資源の保存を図っています。また、蛇谷国有林の高標高地に生育するブナを主体とする群落は、千丈平ブナ植物群落保護林の一部として指定しています。



白山スーパー林道

この蛇谷国有林を縫うように開設された石川県白山市尾添と岐阜県大野郡白川村を結ぶ「白山スーパー林道(有料)」は、昭和五二年に総延長三三kmが開通し、六月初旬から降雪の始まる一月初旬にかけて、北陸と岐阜県飛騨地域を結ぶ交通の要路として利用されています。

白山スーパー林道沿線には、老婆が白髪を振り乱しているように流れ落ちる「姥ヶ滝」や八六mの落差のある蛇谷随一の「ふくべの大滝」など七つの名瀑があり、沿道の展望台からは、白山の雄大な風景や白山山頂御前ヶ峰、平成七年に世界遺産登録された白川郷合

掌造りなどが望めます。

また、このスーパー林道沿いの国有林は、蛇谷風景林に指定しており、秋の行楽シーズンには、ブナ、ミズナラ、カエデ等の広葉樹が見事に紅葉し、訪れる人々の目を楽しませてくれるスポットともなっており、年間約五〇万人の人々が自然とのふれあいを求め訪れています。

ドライブや森林浴が楽しめ、澄んだ空気が美味しい、紅葉の蛇谷風景林に是非訪れてみませんか。



落差八六m ふくべの大滝

〒九二〇、一一五五
石川県金沢市田上本町七一街区一番
TEL 〇五〇、三一六〇、六一〇〇
FAX 〇七六、二二二一、六二二五
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/isikawa/>